

政策評価シート(中期基本計画期間)

基本構想	戦略的行政運営
背景と現状	<p>自治体財政が厳しい時代が続くものと予想されることから計画的な行財政運営を進めます。</p> <p>時代状況の変化や町民の要請に応えられる行政を目指して、柔軟で機動的な自治体経営、スリムな行政、他の自治体との連携による広域行政、将来像を実現するための戦略的なまちづくり、広報広聴機能の充実を進めます。</p> <p>また、「自治体経営の力」を向上させるため、まちづくり行政を担う職員の育成を進めます。</p>

取組状況

重点的方針	内容	実績の推移			備考
		H28	H29	H30	
1 職員のスキルアップによる運営能力の向上	窓口等における町民への職員の対応の向上や、施策に関連する専門知識の蓄積等、業務に関する能力の向上を図るとともに、公平で効率的かつ効果的な施策・事業の運営能力を身につけられるよう、体系的・段階的な人材育成の方針に基づき計画的な人材育成を行います。	A	A	/	
2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進	<p>戦略的な自治体運営を推進するため、長期的な視点に立ち、周辺自治体や町民、民間等との連携や、施策や事業等の柔軟な運用を行います。</p> <p>また、事業及び施策について、外部評価も含めた評価制度を活用し、効率的・効果的な運用を進めるため、事業費を含めた見直しや、統廃合等を進めます。</p>	B	B	/	

町民満足度調査の結果

H30加重平均値 重要度3.97／満足度2.97

設問内容	重要度		満足度		備考
	前回調査(H27)	H30	前回調査(H27)	H30	
4-1 職員のスキルアップによる運営能力の向上	3.73	4.09	2.96	2.78	
1 職員の能力の向上	3.73	4.09	2.96	2.78	
4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進	4.07	4.00	2.84	2.82	
1 計画的な行財政改革の促進	4.01	4.02	2.88	2.82	
2 安定的な財政基盤の確立	4.20	4.14	2.74	2.76	
3 広域連携の推進	3.99	3.83	2.91	2.88	
【その他町民意見(日頃からの町民の反応や問い合わせについて)】					

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	B
	<p>説明</p> <p>重点施策の評価状況(平成29年度)は、「A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持」が1施策、「B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある」が1施策あり、前年度と比較し、同じ評価結果となった。</p> <p>町民を対象とした町民満足度調査の重要度を前回値と比較したところ、「職員の能力の向上」「計画的な行財政改革の促進」の項目で上昇しており、いずれも加重平均値を上回っている。</p> <p>満足度については、「安定的な財政基盤の確立」以外のすべての項目で下降している。</p> <p>また、重要度と満足度を比較すると、「重要度」が高いにも関わらず、「満足度」が低い結果となっているのは、「職員の能力の向上」「計画的な行財政改革の促進」「安定的な財政基盤の確立」となっているため、優先的な改善が求められる。</p> <p>今後、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、厳しい財政状況が見込まれるため、行政改革大綱に基づき、着実に推進することで、組織体制の強化と安定的な財政基盤の確立へとつなげ、また推進にあたり、町民とともに考え、行動する向上意識を持った職員の育成を図る。</p>	

外部評価[まちづくり評価委員会]		
	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>戦略的行政運営について、広域連携の推進や職員の能力の向上といった重要性の高い施策への取り組みについては、評価できる。一方で、町民のニーズの把握や事業内容への理解を図るため、より地域に出向いて話し合う姿勢や、いきいきと仕事ができる働き方改革への取り組みなど、より強力に推進すべき分野もあるため、一部を改善し、推進することが必要である。</p> <p>○ 若々しく意識の高い優秀な職員が増え、窓口対応や地域での取り組みなど職員の資質が向上していると感じる。 【重点的方針 施策4-1】</p> <p>○ 職員のスキルアップへの取り組みは重要だが、単に研修だけでなく経験豊富な職員や課の枠を越えた交流による経験の蓄積も必要と考える。事業の見直しや作業の効率化についても、取り組むべきである。 【重点的方針 施策4-1】</p> <p>○ 計画等の策定に際しても、外部の専門的な知見を取り入れるとともに、職員が町民とひざを交えて話し合うことで意見をくみ取り、職員の自覚を高め、自らスキルアップする姿勢を育てる工夫も必要である。 【重点的方針 施策4-1】</p> <p>○ 「二宮町人材育成基本方針」は大変すばらしい内容である。定期的に振り返り、実際にどこまで実現できているか見直すことも必要である。 【重点的方針 施策4-1】</p> <p>○ これからも町の重要な取り組みを推進するためには、横断的に取り組み、その取り組み内容が町民に見える体制づくりを工夫することが望ましい。 【重点的方針 施策4-2】</p> <p>○ 今後は事業のスリム化が課題だが、分野別方針にある施策レベルから、内容が重複するような事業は、必要性に応じて統廃合など整理していくべきである。 【重点的方針 施策4-2】</p> <p>この政策は内部的なものではあるものの、財政面など結果的に町民生活に関わる重要な施策なので、積極的に進めていく必要がある。その際、町民の理解を得られるようなさまざまな対応、多分野において職員の資質の向上を図ることが必要である。また、職員の 自己有用感を高め、いきいきと仕事ができる環境整備、業務の見直しなど働き方改革の取り組みを進める必要がある。</p>	

町の最終方針[庁内評価委員会]

- A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する
- B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する
- C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある
- D: 政策全体を見直す必要がある

B

方向性

基本構想「戦略的行政運営」については、外部評価において取り組みや成果について評価された施策もあるため、これまでの取り組みをベースに、施策を一部改善し、次の通り推進する。

人口減少や少子高齢化が進展する中、町民のニーズに柔軟に対応できる安定した自治体経営が行えるよう、行政改革大綱に基づく、効率的・効果的な行政運営を行う体制の整備と、町民との協働によるまちづくりをより一層推進する。そのため、地域に出向いて対話を重ねるなど、町民のニーズの把握や理解を得ることに努めるとともに、職員が自己有用感を持ち働くことのできる環境整備や働き方改革等を含む業務の見直しを推進する。

重点的方針4-1においては、職員研修のみならず、職員同士の横断的な連携や外部との交流により経験を蓄積することで資質の向上に努めるとともに、「二宮町人材育成基本方針」等による、職員の資質向上の達成状況を定期的に見直し、さらなる向上へとつなげる。

重点的方針4-2においては、重要な取り組みを推進するために、枠組みに囚われることなく横断的に連携する体制を強化するとともに、その取り組み状況が町民に見える手法を検討・実施する。また、事業を整理し、必要に応じて事業を統廃合するなど、事業のスリム化についても推進する。